

2018.08 - 2021.12

ANMITSUYOMOGITEI PRESENTS


R-18
FOR ADULTS

ANMITSU TOUHO HISTORY

Vol.

4





2018/08/10 C94
お百度上手の早苗さん



—最近

うちの神社によく参拝に来る男の子がいます

110
シヤ

えと……
今日で
20日目
でしたっけ……

せ、精が
出ますね……

はい……っ
一日も
休めません
から……っ

わっ……



真面目で
信心深くて……

純粹でいい子……



どうしても叶えない
お願い事がある
みたいだったので

いっせ
参拝します

真中は
通らな
いよ、

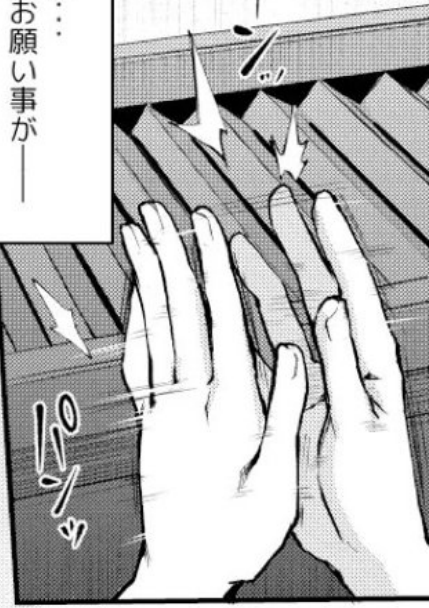
百日間
毎日参拝する
〔お百度参り〕を
教えてあげたら

欠かさず毎日
参拝に来られる
ようになりました

んん

早苗さんと…
両想いに
なれますように…っ

ただ…
そのお願い事が—



まさかそんな
お願いとは思わず…
「信仰をすれば
きっと願い事は
叶います」
神は
あなたを想っ
て聞いちゃうよ
—なんて
つい言ってしまった
ばっかりに…

かま…

なんと
お願いを
したんですか…?

その上—





そんな…

そんなの
言え…
ません…っ

どうやら…
本人はお願いが
声に出ちゃってる事に
気づいてないみたい…



それを
指摘する
訳にもいかず
無垢な好意を
無碍にできる
訳もなく

連日のように
告白を聞き続けて
いると…

そっか…



どうにかなって
しまいそうで…

さ、早苗さん

もっと
お願いを成就
しやすくするには
どうしたら…?!

ど、どうしても
叶えたいんです
…っ
何かあったら
教えてください…!

相手がまだ
子供とはいえ…

守矢神社の
参拝は効きますね
…なんて
…
おまけ

え
あ…ちよ

意識しないようにと
思えば思うほど...

この子の
濡れた髪や：
潤いのある唇や...

張り付いた服が
煽情的に見えて...

——つて
子供相手に
何考えて——ッ!?
意識しすぎて
動悸が収まらない
いい——ッ!!



落ち着け
落ち着け
相手は子供：
それも純粹な子
なんだから...

平常心で...
平常心で
接つすれば—

ん?



なんかすごく
コッ子見て...





あ
...

ポ
ッ

ポ
ッ



す、すいません
僕……ッ！

待っ……ッ
ダメ……！
そっちは
滑るから……ッ！

危ないッ！！



え……あ……
ちょ……！

す、透けっ!!

ポ
ッ



私のこと考えて...
私の事を見て...
私に触って...

興奮—
してる...?
こんな...
純真な子が...!?

凄...い...!

うそ...!

え:ウソ!
これって...

勃って...
当たってる...

無垢なままなのに
本能で硬く
しちやってる

小さいのに
私を押し上げて
くる——ッ

硬いの当たって
気持ちいい——

ぐりぐり擦れて
気持ちいい——

私の事が
好きって気持ち……ッ
私のために
おつきくさせた
ちんちん……ッ

もっと……
感じたい……ッ

もっと……
いっぱい——

感じ……た——ッ





この時の早苗さんは
いつもと違って
少し変だった様に
思います

だけど僕は
初めての感覚がして
頭が回らなくて
何が起ったのか
よく分からな
かったです



最初は
驚いたけど
これも誤なんだと
分かって
安心しました

早苗さん曰く
この白いののは
「穢れ」という
悪いモノで

その後
落ちてから
早苗さんが教えて
くれました

これを出すのは
沐浴と同様
心身を清らかにする
意味があるらしいです



—その後は
いつも通り
お参りをして
帰りました

—それから
お参りする前は

毎回
【機械】を出して
清めてもらっています



待...
あ...
ま...

ま...
あ...
ま...

ま...
あ...
ま...

ま...
あ...
ま...



何回も
していいうちに

なんだかそれが
気持ちいい
感じがして...



出ほうに
なっはら...

いつでも
出ひて
いいからね...

心身を清めるため
早苗さんは
積極的に裸を
してくれませす
最初はゾクゾクと
変な感じがして
苦手だったけど





ダメーっ
ちゃんっ
見てっ
挟まってる
とこ見てっ

出るこ
出ててー

早苗さんの裸も
最初は見たら
怒られると思って
いたのですが

穢れを出すためだから
見てもいいんだよ
と教わりました

それからは
お風呂でする事も
多くなりました

全身を使って
清められるから
より効果がある
らしいです



早苗さんは
凄く優しくて：
その柔らかい胸で
挟まれると

何度も穢れが
出てしまいます



キレイに
するね...

キレイに
するね...



お願い事を
叶えるために毎日
お参りに行って：



その度
早苗さんは優しく
丹念に禊をしてくれて

僕は今まで以上に
お百度に熱心にな
っていった：



だんだん
日を重ねるごとに
禊をする回数
を増していった：



え〜
どうしたの〜？



お百度を
諦めたい〜
なんて〜っ

〜？
だっ〜？



入ーッ

ちゅーっ

えー？

早苗さんの中に
僕のがー

ちゅーっ

ちゅーっ

ちゅーっ



一度一度
心願成就の
願いを込めて
境内を往復して
お参りすると...

雑念が払われ
信仰を強くし
穢れが浄化する
そうですよ...



お百度参りには
ですね...

入口から拝殿まで
一日で百回
往復するというのが
あるんですよ...



知って
ますか...？



今は
まだ一度目……

だから……
してみませんか……？

私の膣内を
百回往復する
お百度参り——♡



……

……

……



……

……

……



さんじゅう…
きゅん…♡

きゅん

きゅん

どろろ



そのまま…
もっと…♡

穢れは
膣内に好きに
出して
いいですからね♡

心願が
妻く伝わって
きますよ…♡

はう…♡
そう…♡
上手な
参拝です♡

私の膣内は
とても神聖なので
全部清めて
あげられ
ますから♡

は、はい…

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん



ああ♡凄いい♡
高まっていますよ
信仰がっ♡
これからは
この参拝の仕方が
良いですねっ♡

手も
——こう♡
おっばいで
合わせた方が
信仰が
高まりますっ♡

ああ
上手っ♡
心願
きちやうっ♡

お願い
届いちゃう♡
成就するっ♡
しちやうっ♡



大丈夫

神様は
あなたの声を
聴いています



信仰すれば
きつとお願いは
叶うから

ハッパン♡

ハッパン♡

ハッパン♡

ハッパン♡

ハッパン♡

ハッパン♡



これからも
毎日お百度…
頑張ろうね

ひゃあ…
く…うっ…
♡♡♡

ハッパン♡

ハッパン♡





知識と日陰の少女
パチユリー・ノーレッジ

本の傍に在る者こそ
自分とする
引きこもりの魔法使い

淑やかで美しい
その佇まいは
まさに知識人の
体現と言えるでしょう

僕はその
パチユリー様の
従者の小悪魔

この大図書館の
司書を勤めるうちの
一人です

パチユリー様は
本を読む時間を
至上の喜びとし
何よりも尊びます

僕たちは
その時間を穏やかに
過ごせるよう
日々助力をしています

僕としても
敬愛する主人に
お仕えしている
この時間は
何よりも
代えがたく
尊いものです

けれど
最近――

あ……っ

ス……

ス……

こうして
本を読みながら
眠ってしまうことが
よくあります

パチュリー様は
一度寝落ちしてしまうと
数時間は目覚めません

呼び掛けにも
反応せず僕は
困り果ててしまいます



パチュリー様...っ
ここで寝られては
お風邪を...っ

しかし
それ以上に
困ったことは

パチュリー様...





あまのり
僕は……

パチュリー
様……っ

ごめん……

なさい……っ



不敬にも
従者としての
敬愛を超え
主人に対し
恋情を憶えて
しまい……

パチュリー様……

あまつさえ
無防備な
主人を相手に
劣情にかられて
しまつて
いるのです……

パチュリー様
好き……っ
パチュリー
様あ……っ



外出しない
パチユリー様の肌は
白く透き通るようで

ほんのりと感じる
汗の匂いは官能的で
さえあります

パチユリー様の
乳房は
とても大きく
押し付ける
指も顔を埋もれて
しまう程です



そして
その香りに
突き動かされて
僕は我を忘れ
股間を
擦りつけ…

そのまま
胸の中で
果ててしまいま

わっわっわっ…



だけど
それからも——





パチユリー…
さま…っ

そして
いつもと違う
緩んだ寝顔を
見ってしまうと…



パチユリー様は
寝台に本を持ち込んで
読むことも
珍しくありません

落ち着くのか
そのまま寝落ちする事も
多々ありました

もぞもぞ



結局
僕は抗うことが
出来ず…
また同じ事を
繰り返して
しまいます

自分の意志の弱さを
ただ嘆くほか
ありません

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



パチユリー様の居眠りは日に二度三度とありその度に僕は連日同じことを繰り返してしまっ

とどうどう
替えの下着も間に合わなくなるなんて...
うう...
僕はまたこんな事...っ

ふっ
ふっふっ

い...今だけは...絶対に射精は出来ない...っ



我慢
しないと...っ!

ん...っ



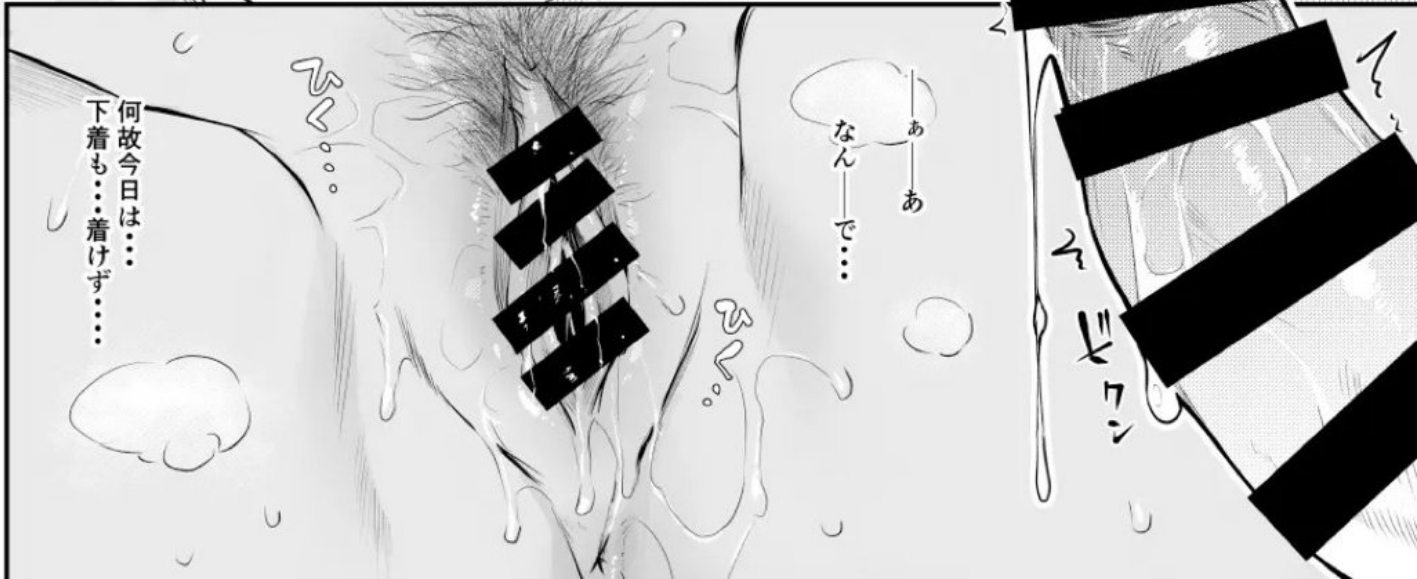
だ...ダメだこれ以上は射精ちゃう...っ 今日はまだ我慢...っ

ん...っ



それから—
っ

急いで
お召し物を
変えて…
拭って…
着替えさせて…
それから…



何故今日は…
下着も…着けず…

あ—あ
なん—で…





え...あ
ほ、本が...っ!?

パチュリー
様...!!?

ど...
ど...
どうして...

いつから
起きて...っ!?

あ...
いや...

その...



じ...
じ...
う

は...
!?



起きて
ますっ!!

寝てるもん♡
寝てるもん♡

お・起きてる
じゃないですかっ!!

お...
お...っ

寝たふり…!?
寝たふり
だったんですか!?

まさか
ずっと…っ!?

だって…っ

だって…っ!

だって…

だって…

最初は
戸感った
けど…

貴方に
甘えられるの
気持ちよくて…
懸命な貴方の顔
見れるのが
嬉しくて…

その後
いつもオナニー
してたの…っ

それが
止められ
なくて…っ
もっと触って…
甘えてほしくて…
っ…っ…っ

そ…そんな
パチュリー様が…!?

そんな事を…
隠れて…!?

だって…っ



だって...

貴方の前だけは...
淑やかな主人で
いたかったの——

ホントは
いやらしいなんて
...

知られたく
なかったから...

そ...そんな...

そんなの...

ズルいですっ!!

カチカチ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ



パチユリー様
好きーッ

好きですッ
大好きですっっ!

オオオオ

オオオオ

オオオ

オオオ
オオオ
オオオ





その時は——

居眠り
しないように
僕が起こさないと
いけないみたいです——







出来るよ…
もう僕が
おしめの交換も
やってるし…っ

二か月
だっけ？
ちゃんとお世話
出来る？

色白で
ぶにぶに
まだ小さい♡
大人しくできて
偉いね♡

おー
凄いつ
いっちょ前に
お兄ちゃん
やってるねえ

あ
そっか

なに
言ってるの…っ
僕は
別にそんな…
えー？
だつて…

キミの妹なら
おっぱいも
好きかな？
ちよつと
あげて
みよつか？
な…っ!?

キキキキ



お姉ちゃん…
今日も…っ!

うんっ
どろぞ♥

つい
この前までは

おっぱい大好きな
おっきい赤ちゃん
って感じで

わたしがビューッて
してあげないと
グズっちゃって
たの!?♥

よしよし♥
ほんとに君は
甘えんぼだね♥

ジュジュ
ジュジュ
ジュジュ



ごめん
ごめん♥

ほらっ
甘えたいなら
好きなら

やめてよ
っ!



あ
そっかそっか
久しぶりだから
先におっぱい
欲しかったよね?♥



そ…それは
その…っ!
昔の話…っ!

えろろろろ?
昔って
ふた月前だよ?
あんなに
夢中だったのに?

アッ



おまじ

おまじ

ただいま...

今度
どうにかして
謝らなきゃ...

ガラッ

!?



ちゅぽ

わちきは
赤ちゃんに
なり申した!!

そんなこと
ある?





んっ...
おっぱい...
出ないねえ...

だから
出ないから...っ!



じゃあ
代わりに
こっち吸う... ♡

そろそろ
止め...っ

んっ?

ちゅっ



ちやんと赤ちゃん
あやしてるみたい
頭撫でながら
褒めて…っ

授乳中の
赤ちゃんには
優しく…
偉い偉いって
褒めてあげるの…っ!

う…
ううう…っ



ちゅー…
そこ全然おっぱい
じゃない…っ!

ちゅー…



いっ…
いっばい
舐められて…
え…あっ

ちゅーちゅー…
出来て…偉い…



な…
舐められて
偉い…

上手に吸えて
偉い…

え…偉い…



ちゅー…
そんなに
吸っちゃ…っ

あ…待っ…



あ……っ♡

すっこい
ミルクいっぱい
溢れちゃった……♡

もったい
ない……♡



うう……

まだ愛情が
足りないのっ 役目
でしょっ



早く早くっ♡

ま、まだ
するの……?

零して濡れちゃったから
脱ぎ脱ぎさせてっ

キシッ



じつも…!!

当然
でしょっ

う…わ…
お姉ちゃんの裸
はじめて見た…

そっちも
濡れてるの…っ
おしめ交換は
得意でしょっ



ぬ…脱げた?
これ
いい…?

ピンピン
めぐるめぐる…
ドキドキして
直視できない…



こい

わっ!?







待つ...
止まっ...!

...これっ
気持ち
よすぎて...っ

溶けちゃ...

ちんちん
溶けちゃう
から...っ!

ピュ
ポッ

ピュ
ポッ



ダメ...っ
もっと...っ

もっと
するの...っ

好きだけ...
甘えさせてくれる
って言ったから...っ

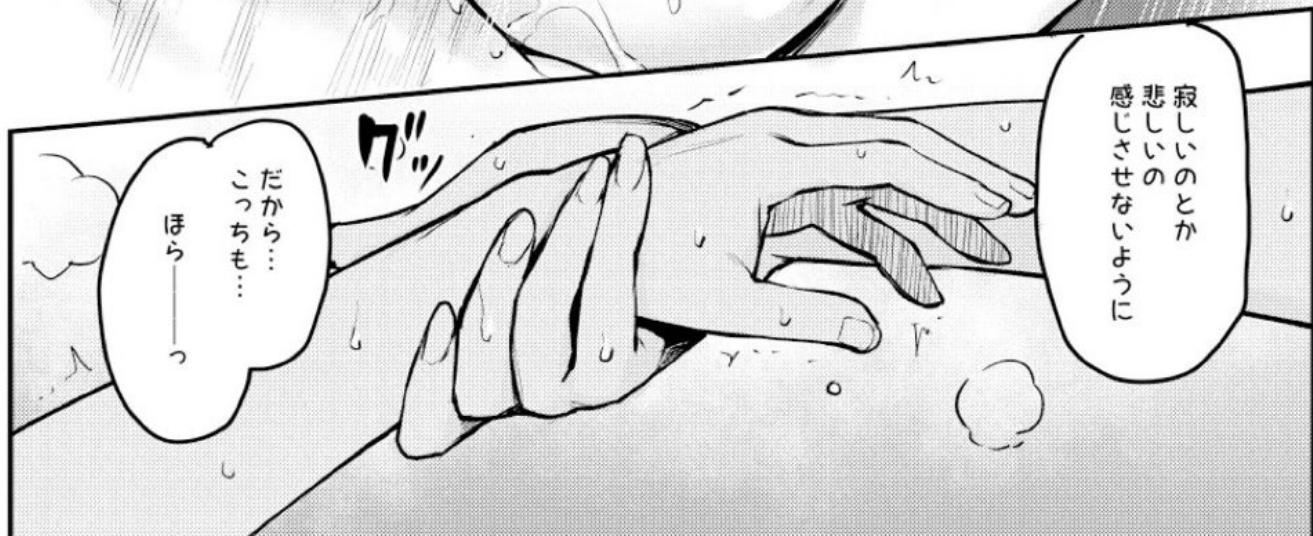
もっと
あやして...っ

甘や
かして...っ

ぷっ

あやして

あやして



寂しいのとか
悲しいの
感じさせないから

だから...
こっちも...

ほら...
っ

グッ



もっと
撫でて触って
愛情を注いで……♡

特におっぱいは
興味ないって言われて
傷ついているんだから
……っ！

偉い偉いって
褒めたげて♡
いっほい
褒めて慰めて……♡

あ
あ……

う……
う……

お姉ちゃん……
の……っ

お姉ちゃんのおっぱい偉い……

え……偉い……

あ
あ
あ

う……

あ
あ

あ
あ

あ
あ





我慢して...っ

ずっとなぞ
触りたくて...

好き...っ

僕...っ

僕...

は...



あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ



ありがと...♥

うん...

好き...

お姉ちゃん好き...

ぐんぐん
ぐんぐん



お兄ちゃんになって
頑張ったりしてて
つい...
あんな事...

だって...
いつまでも
甘えん坊の子も扱い
じゃなくて
早く大人になって
お姉ちゃんおねえと
対等たいとうになりたくて...



あの...
お昼はひどい事
言っちゃって...

ごめん...
...なさい...

そんなの
もう気にしなくて
いいのにな...♥
もう
わちきは
元氣復活ってねっ!

ぐんぐん
ぐんぐん



そっか...

だから...
甘えないように
してたのに...
結局...また...
恥ずかしい...



でも大丈夫…

私も赤ちゃん
だったから

対等
おんなじ
でしょ？



誰だって
甘えなくなる時は
あるんだから…

甘えるのは
恥ずかしく
ないよ

頑張ったら
頑張った分だけ
甘えていいんだよ

ん…



じゃあ
次は…



きゃ…

わっ
甘えん坊さん
復活かな？

へへへ…
いいこ
いいこ…

わちきの
赤ちゃんに…
なり申すか？
♥









美宵さんはその際にいつも僕の面倒を見てくれるながら

一緒に
お昼を取ったり
していた

落とさない
ようにねー

僕は爺っちゃんのお店で
こうして昼ご飯を
食べるのが日課に
なっている

おいしい
食ったなら
自分で片付け
すんだぞ



はい



なんだか
親しい姉が
出来たように
感じていた

最初は一々
お節介な人で
煩わしく感じても
いたけど
毎日毎日
甲斐甲斐しく
接されてる内に



あ
そこ
まだ汚れて
るよっ



ただ



なんだあ
アイツ?
慌たらしいな…

便所くらい
もちっと
落ち着いて
行けないのかね…



ハイツ
終わった!!

お便所
行ってくる!!



ただ
不満があると
すれば

美宵さんは
良い人
それはきつと
間違いないと思う



もう…
なんなんだよ
コレえ…

美宵さんに
近づかれると
こうなってしまう事だ



もう夕方
ですよ

御寝坊
さん♥



え…?

トイレ傍で貴方が
眠りこけてたから
ここに連れてきて
寝かせて

覚えてない?

なんで
つて



え
美宵さん…!?

なんで…!?

そんなに
驚かなくても
良くない?

失礼しちゃうっ

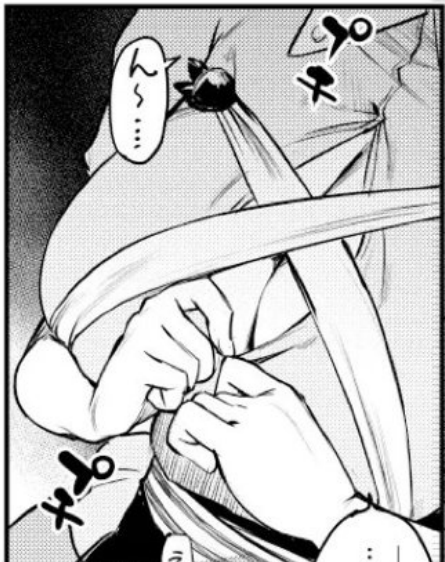
ドキ
ドキ
ドキ



あれ…

そう…
だっけ…

じゃあ
今は…?
………?





思い出し
ちやった……?♡

お酒って
慣れるから
もつと上手に調整
しなきゃねえ

うっかり
しちゃった♡

でも
何されてたのか
まだ分かってない
みたいだからいつか♡

あゝあ
またこんなに
勃たせて……♡

み
美宵さんっ
何して……!?

え
すま……

しゅる

ぴん

うん

入っ

入っ

魚見

教えてあげるっ

キミはこれから
悶々としながら
いつも見ていた
私のおっぱいで

精通
するの♡

精通って
言っても

これが初めての
じゃない♡
けれどっ♡

な...あつ
あつ...!!

なに...コレッ
チンチンが
おかし...っ!!

今までも
何度も私が精通
させてたんだよ?

昨日も一昨日も
先週も先々週も...
その前も...

でも忘れさせたから
キミは覚えてない
んだけどね♡



この前は
カウンター内で
キミのおしゃぶり
してたんだよ♡

初めての快感から
腰が引けるのを
抱きしめて逃がさない
ようにしたら

私のお口いっぱい
精通しちゃって
腰が抜けそうに
なってたね♡



別の日には
遊びで一緒に
押し入れに隠れてたら
興奮しちゃった
んだよね?♡

窒息しそうなくらい
おっぱいに夢中に
なっちゃって
可愛かったよ♡

その時は
撫でただけで
精通しちゃって
顔真っ赤になってたね♡



そんな事を
毎日毎日...♡

だから“頭”では
初めての精通なのに
“身体”は射精開発されて
感度全開の全身性感帯に
なってるんだよ♡

だからとっても
気持ちいい
でしょ?♡



ほら
見て…♡
キミは
覚えてない
ですけど

おめでとうっ♡
これでちょうど
精通百回目記念
だよ♡

百回目の精通は
どんな気持ち？♡
仕込みに仕込まれた
快感の味はどうだった？♡

ふふっ
幸せそう♡
ちんちん喜んで
勃ったまま
跳ねちやってるね♡

こんなに
出したのに
治まらないなんて
刺激が強すぎた
かな？♡

それなら
……

精通百回記念に…
こっちの初めても
味わっちゃおっか…♡

ふえ…？

ぬちゅっ



あははは

待っ…あ…

ちんちんが…っ
溶け…ちやう…っ

筆おろし
しちゃったのは
本当に初めてだね♡
出たり入ったりで
私と一つに
なっちゃってるの
分かる…??♡



んは…♡

ほら
見て見てえ…♡



ん？
だっ…え♡
キミが
いけないんだよ…？



初めて続きで
ちんちん敏感で
大変だよねえ♡
でも
腰引いちやダメ♡
私の膣内も
偏食しないで
味わって♡

こん…な…
な…んで…

キミ♡

キミ♡

んっ

んっ



だから最初は
ちよつと
お灸をすえて
からかうつもりで

そうしたら
涙目になって
ふるふる震え
ちやつて……



×

私のご飯も
食べなかつたし
悪態もついていたもんね



前のキミは
ちよつと意地悪
だったからね



その表情が
もう……

堪ら
なくて……♡



そんな顔……
何度も……何度も……
見たくなつちやう
じゃないつ♡

ひま……

お……

お……

お……



きつと
身体が本能で
快感を享受しようと
動いちやってるんですね♡

そんな
涙目でヘコヘコ
動いちやって…
可愛いね♡

なん…
で…
なんか…
勝手に…動い…
ちや…っ



初めての
膣内射精の表情
たっぷり見せてねっ♡

そのまま
自分の本能に
正直になって♡







美宵さんの事
好きだから…
忘れたくない…っ

美宵さんの事
全部覚えていたい
—だって…っ

やだ…っ

ふい…っ

美宵さんとの事
一つも
忘れたくない…っ

え…あ
ちよ…っ!?

だから…

どうしたらいいとか
僕にはよく
分かんないけど…っ

悪いこと
謝る…からあ
もっと
いい子になる
から…あ

ずっと
忘れずに…
一緒…に…っ

僕…

僕…っ!



! (heart) (heart) (heart)

!! (heart) (heart) (heart)

!! (heart) (heart) (heart)

!! (heart) (heart) (heart)

!! (heart) (heart) (heart)

!! (heart) (heart) (heart)

!! (heart) (heart) (heart)



ん…?
どうした?

結局
あの夜は――

アハハ!
ヤンデモナイ
ワケスヨ!



アイツ
昨日泊まって
まだ寝てるのか?

まあそろそろ
起きてくると
思うからよ

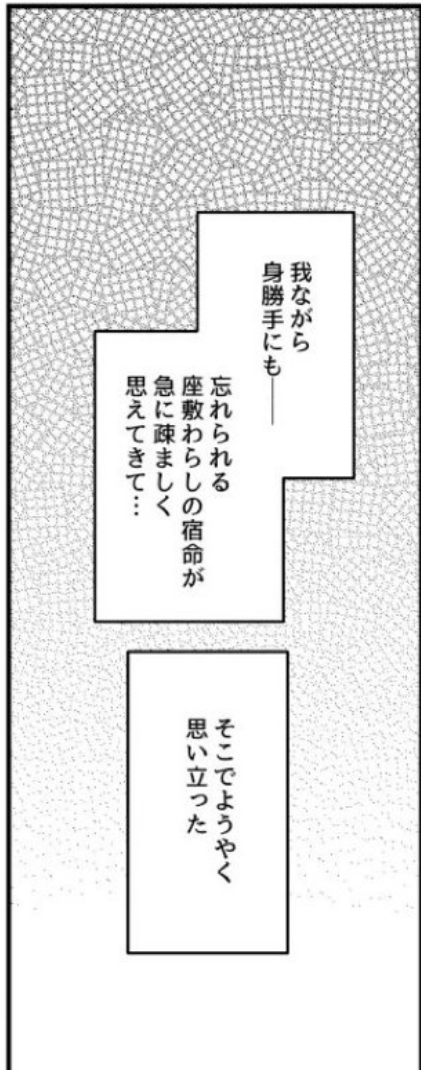
朝飯の準備して
やらなきゃな



あの子はすぐ
今までと同じように
眠ってしまった

いつも通りなら
きつと次の日には
忘れたままのはず

そのはずだ……



我ながら
身勝手にも――

忘れられる
座敷わらしの宿命が
急に疎ましく
思えてきて……

そこでようやく
思い立った



あの時の
あの表情が――
頭から離れなくて……




キュ……

どうせ
忘れられるからと
行っていた痴態

覚えられていたら
大変だ……
恥ずかしい事が
多すぎる……

あれから
ずっと悶々と
してしまふ……



そっか

酔わされていたのは
私の方だったのか
と

キ...

もし
覚えていたら...

どんな顔して
会えばいいんだろ
.....





ANMITSU TOUHO HISTORY

Vol.4

発行日 ■ 2021/12/31

発行元 ■ あんみつよもぎ亭

発行者 ■ みちきんぐ

web ■ <http://anmitsuyomogi.seesaa.net/>

pixiv ■ 2361345

印刷 ■ 株式会社 上野印刷所

画像の転載、データ化、web上での
データ共有はご遠慮ください

2018.08 - 2021.12
ANMITSUYOMOGITEI

OHYAKUDO JOUZUNO Sanae SAN
INEMURI JOUZUNO DAITOSYOKAN
WACHIKIHA AKACHANNI NARIMOUSHITA
OKUNODAGA SEITSU JOUZUDE
SUMIMASEN